

## ●地域ICT利活用モデル構築事業（20年度）

県名	自治体	委託内容	委託内容
福岡	添田町	福祉	添田町子育て支援連携システムモデル構築事業 保護者、保育所・幼稚園、小学校、医療機関、町役場との間で子どもの健康情報（既往歴や予防接種記録）を共有し、既往歴等を踏まえた診察・服薬指導、感染症・健診の情報配信、日常の保育風景等の情報掲載を通じてきめ細かなサービスを提供する。また、子育て中の家庭向けの添田町等からの案内を充実させる。
熊本	天草市	中小企業	Webの駅構築システム地域活性化課題解決モデル「Webの駅」天草情報タワー これまで個々のサービスやコミュニケーション毎に持っていた地域情報を一元化することにより、道の駅のように、仮想上の地域入り口として地元住民だけでなく観光客など市外者へのやさしい道しるべとなる『Webの駅』として存在することを目指す。
鹿児島	奄美市	観光・交流	奄美の健康な暮らしに根ざしたビジネスモデル構築事業 健康・長寿の島である奄美の地域資源を活用し、「しまっちゅMosaic」および「あまっちんぐ」において生産者自身や生産者の手がける商品やサービスを深く紹介することで奄美ファンの増加と関連消費の拡大に繋げる、「奄美のお宝Tour&ロコミMap」において、ツアー等を通じて実際に体験してもらえらる仕組みを構築する。 奄美で暮らす若者や中高年については健康への意識が低いという課題に対し健康意識の向上を目的としたサイト、具体的にはICTツールに慣れており、かつ情報交流ニーズの高い母子の健康管理・情報提供・交流機能を有する「Mama's Life Note」を構築する。
長崎	壱岐市	一次産業	「壱岐の幸サポーター制度」を構築（ICTを活用した地域産業・事業者への当市による地域活性化事業） 農家・漁家等への投資事業「壱岐の幸サポーター制度」を構築し、ICTを活用して消費者に対して出資者を募り、生産に伴うリスク（台風や赤潮等による収穫の増減）を消費者がともに負担することで安定的な価格販売を実現。生産者ブログの情報発信により、消費者は出所のわかる安心安全な食材を安価に入手することが可能。
熊本	熊本県	観光・交流	くまもと安心移動ナビ・プロジェクト事業 ユビキタス技術を活用し、やさしく簡単で誰でも使える公共交通や各種施設等（観光地・公共施設・商店街）システムを構築。
熊本	阿蘇市	環境	環境活動支援システム（ICT活用による環境活動支援モデル事業） 阿蘇の自然環境資源および活用のための連携と協働（環境活動事業、人材）を支援するシステムを構築し、これらの活用成果によるエコビジネス、コミュニティビジネス等への起業化を目指す。 → 阿蘇における持続可能な環境地域づくり
福岡	大野城市	医療・福祉・介護	官民連携・協働による福祉の「新しい公共」（ICT利活用）構築事業 ・行政や医療・介護事業所が持っている健康・福祉に関する情報を共有化。高齢者や障害者へ一貫した支援を提供。 ・民間事業者や病院、介護施設等がインターネットで接続できる安心・安全なポータルサイトを構築。情報の共有が可能。 ・業務システムを平成18年度に福岡県共通化技術標準に基づいて構築した共通基盤上に構築。システム間の連携が可能となり自治体で行う様々な手続きをワンストップ化。

佐賀	佐賀県	遠隔医療	<p>診療情報の共有と映像コミュニケーションによる“どこでもかかりつけ病院”事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・TVを使った遠隔対面コミュニケーションによる離島住民への健康診断・相談事業の実現、医師・患者間のコミュニケーションの実現。</li> <li>・複数医療機関にまたがる患者情報を把握するための診療情報共有システムの構築。より適切な医療の提供を実現。</li> <li>・若手医師を育てるため、医療専門職者との遠隔対面コンサルテーションの実施、医療カンファレンスの体制強化。</li> </ul>
大分	豊後高田市	医療・福祉・介護	<p>大学連携による地域医療高度化モデル事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット技術を活用して大学と市内の医療機関を結び、画像診断システムを構築することにより、市内の各診療所で撮影したレントゲン、CT画像等を読影専門医が行うことが可能となり、市内の診療所で受診しても大学の附属病院と変わらない最高水準の医療サービスを実現。これにより、都市との医療格差を是正し、都市部とかわらない利便性の高い生活環境を実現。</li> <li>・あわせてICT技術を活用した高齢者の安否確認モデル事業を実施。</li> </ul>
鹿児島	伊仙町	医療・福祉・介護	<p>長寿者のライフスタイルの知恵活用モデル事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な高齢者のライフスタイルのデータ蓄積と情報公開により将来的な介護受給者に対する予防措置を講じるとともに毎日の健康情報を情報システムの応用及び公開することで、島内外の医師や保健師などによるアドバイスや予防策を提供。</li> <li>・拠点とする健康増進センターの情報交流拠点化 高齢者、障害者、市民らが自ら足を運び健康づくりを行う施設を利用し、毎日の健康データを閲覧することで病気予防を積極的に行うとともに、医師や栄養士からのアドバイス情報の共有、来訪者同士の交流による各主体の生活の知恵を得ることでライフスタイルを向上。</li> <li>・健康に寄与する島の風土や地域資源の活用による新たな産業・雇用の構築。 長寿で健康体の高齢者のライフスタイルをケーススタディとして紹介することで都市住民の健康や長寿に関する興味を醸成し、来訪の促進や食材の販売、新たな商品の開発等を行うことで離島に新たな産業を創出。</li> </ul>

※ 佐賀県の「遠隔医療」は、平成19年度に地域イントラネット基盤施設整備事業により整備した離島3島をフィールドとして実施予定